

津久見市の小児医療・小児保健の向上を目指して

子どもの健康と病気の予防①

－新型コロナワクチン接種－

小宅医院 小 宅 民 子

津久見市でも新型コロナ感染症のクラスターが発生し、新型コロナ感染症は未だ終息していません。現在（令和3年3月）ファイザー社のワクチンが承認され、2月より医療従事者への先行接種がはじまりました。新型コロナワクチンは、メッセンジャーRNAワクチンで、今までの生ワクチンや不活化ワクチンとは免疫を作る機序が違います。ワクチン接種の対象者は16歳以上で、子どもは接種の対象とはなっていません。ワクチンは3週間の間隔を開け、2回接種します。前後に他の予防接種を行う場合は、13日以上の間隔をおかなければなりません。また、他の予防接種との同時接種はできません。1回0.3mlを筋肉注射します。新型コロナワクチンの有効性（接種した人が、接種していない人と比べて、どれくらい感染を減らせたか）は、2回の接種により約95%とされています。主な副反応は、注射した部分の痛み、発熱や頭痛、寒気や倦怠感です。

こうした症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。そのため、ワクチンを受けた後、15分以上（過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある人や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことのある人は30分以上）、接種を受けた施設で待機します。体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。注射した部分は清潔に保つようにし、当日の激しい運動は控えてください。

新型コロナ感染症は、未知の感染症で、特効薬もありません。新型コロナワクチン接種もはじまつたばかりです。今まで同様、手洗い、消毒、マスクの着用などの基本的な対策を続けましょう。

新型コロナワクチン接種5つのポイント

- 対象者は16歳以上
- 3週間の間隔を空け2回接種
- 1回0.3mlを筋肉注射
- 主な副反応は、注射した部分の痛み、発熱、頭痛、寒気、倦怠感
- 手洗い、消毒、マスク着用の基本的対策を持続